

様式2

がん教育実施報告書

学校名	郡山市立富田東小学校			
実施対象者 (学年・保護者など)	6学年			
教育課程の位置づけ	体育・保健体育	道徳	学級活動・HR活動	講演会・行事
その他()				
実施日時	令和7年12月17日(水) 14:10 ~ 14:55			
打合せについて	【1回目】方法：電話		内容：講義内容、準備物について	
	【2回目】方法：		内容：	
外部講師 職・氏名	職名 看護師 氏名 千葉 久美子 様	(坪井病院)		
実施内容	<p>【テーマ：がんとともに生きる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がんという病気について <ul style="list-style-type: none"> ・がんとは。がんになる原因、治療方法について。 ・早期発見、早期治療で治る病気である。そのためには、定期的にがん検診を受けることが大切なこと。感染はしないこと。 ○ がん患者の経験談（映像） ○ 緩和ケア、ホスピスについて ○ ホスピス患者の紹介 ○ 質疑応答 			
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門用語も分かりやすい言葉で話してくださったので、児童が理解しやすかった。 ○ がんは、10~20年かけて1cmの腫瘍となるが、その後1年で倍になることから、早期発見・早期治療が大切であることを学んだ。このことを家で家族にも伝えてほしい、とのアドバイスをいただいた。 ○ 誰もががんになる可能性はある。しかし、早期治療で95%は治る病気があるので、こわがらなくてよいことを学んだ。 ○ ホスピスにおいて、患者は「オーケストラ」に例えられる。患者の「どう生きるか」の指揮に、家族、チーム医療がどう支えていくか。ホスピスでは、最期まで自分らしく生きるためにサポートを行っていることを学んだ。緩和ケア認定看護師による心のこもった講話は、児童のみならず、職員の心にも響いた。 ○ 電子タバコにも発がん性物質は含まれている。ノンアルコール飲料もエネルギーがあるので、飲みすぎはいけないことを学んだ ○ 児童からの質問「がんができると目で確認できるのか？」 →皮膚がんは分かる場合もあるが、内臓にできるものは、検査をしないと分からない。筋肉(心臓)にはできにくいと言われている。 			